

Cコース

【集合時間】 8:50

■見学スケジュール詳細

9:00 富山駅北口 出発
 9:40~11:20 三協立山(株) 三協マテリアル社 射水工場 見学
 11:50~12:50 富山大学 先進アルミニウム国際研究センター 見学
 12:50~13:30 昼食：富山大学にて昼食弁当
 14:15~14:50 若鶴大正蔵
 15:10~15:50 (株)HARITA 家電薄型テレビリサイクル工場 見学
 16:00~17:15 (株)フジタ 本社工場・ファクトリーアートミュージアムヤマ 見学
 18:15 富山駅 解散

※当日の交通事情により、スケジュールに変更が生じることがあります

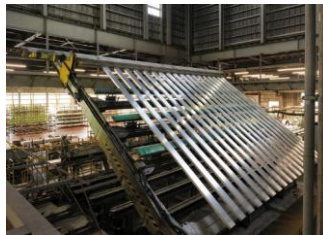
三協立山株式会社 三協マテリアル社 射水工場

【見学先・工場紹介】

三協立山は、1960年の創立から“アルミニウム”を主たる材料として日用品や建築用サッシなど、アルミ製品の製造・販売に注力してきたものづくりの企業です。「お得意先・地域社会・社員の三者が協力し、共栄する」という協業の精神に基づいた経営理念のもと、事業を拡大・展開してきました。

射水工場は、業界トップクラスとなる15基の押出機と皮膜ラインを保有し、アルミニウム・マグネシウム材の一貫生産を行っています。円柱状のアルミビレットが押出工程によりアルミ材へ成形される様子や、その後のアルミ材の表面処理工程をご覧ください。

サッシ製造の裏側を、ぜひ間近でご覧ください。



《三協マテリアル社 射水工場》

■所在地
 〒934-0031
 富山県射水市奈呉の江13-3

■TEL
 0766-84-4131



これが見られます！

▶ 巨大プレス機が形を造り出す「押出加工の瞬間」、整然と進む「自動化された皮膜処理工程」をご覧ください

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

【見学先・工場紹介】

持続可能な社会の実現に向けてアルミニウムのリサイクル技術向上にむけた先進の研究開発設備と研究事例を紹介します。

- ・富山大学が進める「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」活動紹介
- ・錫を用いた鋳造アルミニウムからのケイ素除去技術
- ・アルミニウム切削切り粉から溶解することなく押出加工のみで板材を再生する加工技術
- ・原子配列までを観察可能なS-TEMによるアルミニウム合金観察事例



アルミニウム溶解精錬システム



直間複動押し出し加工プレス機

《先進アルミニウム国際研究センター》

■所在地
 〒933-8588
 富山県高岡市二上町180番地
 (富山大学高岡キャンパス 軽金属材料共同研究棟内)

■TEL
 0766-25-9270



これが見られます！

▶ 溶解・合金設計・押出加工などアルミニウム製造に関する一貫通貫した研究プロセスを見学いただけます

株式会社HARITA 家電薄型テレビリサイクル工場

【見学先・工場紹介】

HARITAの「家電リサイクル工場」は、2001年の家電リサイクル法施行に伴い、国の認定（大臣認定）を受けた信頼性の高い再商品化工場です。テレビをはじめとする家電4品目から高度に資源を回収し、確実なリサイクルを担う重要な拠点の1つとなっています。

テレビの処理工程においては、家電リサイクル法および家電リサイクル協会より定められたガイドラインを厳守し、適正なオペレーションを実施しています。使用済みテレビは単に解体・破砕されるにとどまらず、高度な選別技術によって徹底的に資源化されます。これにより、回収された資源は単なる二次原料ではなく、天然資源の採掘を強力に抑制する「モノからつくった新しい概念の素材」へと生まれ変わり、社会へ再供給され循環していきます。

工場は環境マネジメントシステム「ISO14001」と労働安全衛生マネジメントシステム「ISO45001」の認証を取得した厳格な管理基準のもとで環境対策設備を導入し、日々の安全管理を徹底することで、持続可能な資源循環モデルを確立しています。また、従業員の作業環境の適正化により、持続可能な職場づくりを目指しています。

《家電薄型テレビリサイクル工場》

■所在地

〒939-0135
富山県高岡市福岡町本領1053番地1

■TEL

0766-64-3516



これが見られます！

- ▶ 当社のリサイクル技術で家電製品をそれぞれの資源に戻し社会に循環させていく行程をご覧ください

株式会社フジタ 本社工場・ファクトリーアートミュージアムトヤマ

【見学先・工場紹介】

株式会社フジタは、アルミ鋳造金型の設計・製作を中心に、治具製作や精密部品加工など、多品種少量生産を得意とするものづくり企業です。

「型にはまらない型屋」をコンセプトに、お客様ごとに異なる課題へ柔軟に対応し、加工技術だけでなく、デジタル技術や人材育成を組み合わせた新しいものづくりに挑戦しています。

近年は、「多能工」から一歩進んだ「多脳工」という考え方のもと、一人ひとりが考え、提案し、価値を生み出す組織づくりを進めてきました。そして現在は、その考えを社外へと広げる「多脳交」を実践しています。その実践の場の一つが、工場内に開設した「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」です。

アートをきっかけに、これまで接点のなかった異業種の方々や地域の皆様、観光客など多様な人々が集い、交流する場を創出しています。異なる価値観やアイデアが交わることで、新たな気づきや発想が生まれ、それらを次のものづくりへとつなげる取り組みを進めています。

今回の工場見学では、「多脳交」の実践事例であるFACTORY ART MUSEUM TOYAMAをはじめ、デジタル技術を活用した現場改善や技術継承など、ものづくりの枠を超えた挑戦をご紹介します。



《本社工場》

■所在地

〒939-0131
富山県高岡市福岡町荒屋敷522

■TEL

0766-64-3710

《ファクトリーアートミュージアムトヤマ》

■所在地

〒939-0131
富山県高岡市福岡町荒屋敷525-9



これが見られます！

- ▶ 場づくり・人づくり・デジタル活用。技術を支える、型にはまらない取り組みをご紹介します